
開講科目名：租税法研究III演習（4単位）

開設年次：2年

開設学部：法学研究科修士課程法学専攻

担当者：杉浦 勝美

《授業の概要》

1. 授業の概要

1年次に実施した判例研究等を通じ、最も興味を持った事項を論文の作成テーマとし具体的な作業を進める。

ゼミを通じて疑問点や進捗状況等を話し合うことにより目標達成に向けてのモチベーションを維持するほか、情報の交換を通じて効率的な作業に資することとする。

（1）年度開始までに論文のテーマを決定し、作業スケジュールを策定する。

（2）4月から7月 … 論文の作成方針、必要な資料収集の実施状況の発表と評価。できるところから書き始め、それぞれに対する意見交換と評価を実施する。

（3）夏休み … 自主ゼミを実施し、進捗のばらつきを防ぐとともに論文を全体的な形にする。

（4）9月から10月 … 整合性及び論理展開チェックを主眼に論文作成し、概要発表に備える。

（5）10月末 … 初稿完成

（6）11月から12月中旬 … 論文精査とゼミ生による読み合わせチェック

（7）期限までに提出

2. 評価方法

スケジュールに沿った進行管理の実施状況と論文の完成度による。